



負けに不思議の負けなし



早いもので今年の前半が終わり、今日から7月です。

教員採用第1次選考までは、残すところ関東地区が9日、東北地区が16日となりました。各自治体の出願者数と倍率の公表、受験番号の通知などもあって、いよいよ試験本番というムードが高まっています。

第1次選考を控えた皆さんに、松浦 静山(まつら せいざん)という人物の次の言葉を紹介します。

『勝ちに不思議の勝ちあり 負けに不思議の負けなし』

松浦 静山(1760~1841年)は、十代半ばで平戸藩(現在の長崎県平戸市辺り)の藩主となり、財政改革を進めて藩の再建に努めました。静山が記した『甲子夜話』(かっしやわ)という随筆も有名です。

この言葉は、東北楽天ゴールデンイーグルスの元監督 野村 克也氏が「負けに不思議の負けなし」という部分をインタビューなどでよく使い、同名の本も出版したことから知られるようになりました。

言葉の意味としては、「勝負に運はつきものである。運で勝つことはあっても、負ける時には何かしらの理由がある。」というようにとらえられます。この言葉から私たちが学ぶことができることは、

- 偶然に勝つことはあっても、偶然に負けることはない。
- 「勝ち」には偶然という要素が入り込むことがある。
- 「負け」には必ず原因がある。それを明らかにして次に活かすことが重要であり、「運が悪かった」と片付けてしまっは、また同じことを繰り返す。

教員採用候補者選考は、単なる「勝負事」ではありませんが、この静山の言葉は受験を控えた皆さんにぜひ心してほしいと思います。そして、

- 試験対策としてやっておくべきことが、中途半端な状態や手付かずのままの状態になっていないか。
- 受験票や提出する採用願書、履歴書の確認は終わっているか。
- マークシート対策や筆記用具の準備は終わっているか。
- 試験開始時刻、試験会場などの確認を終わっているか。
- 健康管理に十分留意すると共に、夜型から朝型の生活に切り替えているか。

など、いわゆる「負け」につながる要因を洗い出して、その解決・解消ができているかをセルフチェックしてください。

教員採用第1次選考において、皆さんが存分に力を発揮することを期待しています。

(教職課程センター 特任教授 佐藤 佳彦)



『学び続ける教師』養成講座について

来週 7月5日（月）から9日（金）までの講座の予定は、次の通りです。

日	曜	第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限	第6時限	残
7月5日	月	個別指導 (ピアノ演奏)	集団面接・討議 9:45～11:00	特別講座『社会に巣立つ皆さんへ』 高山香織 客員講師		教育原理・教育心理総合 解説 教採実践問題にチャレンジ		12
7月6日	火		人文科学総合	自然科学総合	自然科学総合	教育時事・一般時事解説(1) 教採実践問題にチャレンジ		11
7月7日	水	集団討議・面接 小論文		自然科学総合	人文科学総合	教育時事・一般時事解説(2) 教採実践問題にチャレンジ		10
7月8日	木	関東地区受験者 打合せ 9:45～	自然科学総合	社会科学総合 (選挙・経済)	人文科学総合			9
7月9日	金	教採実践問題に チャレンジ		社会科学総合 (選挙・経済)		教採実践問題に チャレンジ		8

※特別講座『社会に巣立つ皆さんへ』について

本学客員講師の 高山 香織 先生にご講話をいただきます。日程は以下の通りです。

12:50 4206 教室に集合（原則、スーツ着用とします）

13:00～14:20 高山先生の講話

14:20～14:40 質疑応答，感想文の記入

※教育時事・一般時事解説について

教育時事は、すでに6月に筆記試験が実施された北海道や神奈川県、茨城県などの出題傾向も踏まえながら、特に「令和の日本型学校教育」、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～」を解説・確認します。

一般時事は、公務員試験等に準じて「政治」、「経済」、「社会・生活」、「国際関係」等の分野を中心に、ポイントを解説・確認します。

教室を使用

※「教採実践問題にチャレンジ」について

東北地区の第1次選考まで、過去に各自治体で実施した試験問題を解いて、筆記試験の傾向を知る「教採実践問題にチャレンジ」の講座数を増やします。可能な範囲で参加してください。

CBTで教育的実践力を培おう！

本学で教職課程を履修する学生の皆さんを対象に、学校現場で求められる「教育的実践力」を培うことをねらいに、『学び続ける教師』実践力養成講座の一つとして「CBTで教育的実践力を培おう！」を行います。

今、学校現場が求める教師は「学び続ける教師」です。子供としっかり向き合い、子供のために保護者や地域の方々、先生方から謙虚に学びながら共に努力できること、つまり教育に関する実践力が重要になってきます。CBT (Computer Based Testing) を通し、教育に関する実践力を身に付けていきましょう。

CBTに参加するためには、教職課程センターに7月9日（金）までメールで申し込むことが必要です。申し込んだ方には、IDを発行し、CBTの問題集を配付します。

なお、CBTの説明会を5日（月）12:10からオンラインで行います。参加してください。

